

© ai ueda



第九 特別演奏会 2022



©山本倫子

◆ 2022年12月17日 土 17時00分 横浜みなとみらいホール
(第383回横浜定期演奏会)

◆ 2022年12月18日 日 14時00分 サントリーホール

指揮: 太田 弦

ソプラノ: 盛田麻央 アルト: 杉山由紀 テノール: 樋口達哉 バリトン: 黒田祐貴

合唱: 東京音楽大学 (12/17) / 日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/18)

ベートーヴェン: 《エグモント》序曲 ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》

発売中!
良いお席は
お早めに

◆ 2022年12月22日 木 19時00分 サントリーホール

◆ 2022年12月23日 金 19時00分 東京芸術劇場

◆ 2022年12月24日 土 14時30分 横浜みなとみらいホール

◆ 2022年12月25日 日 14時00分 東京芸術劇場

◆ 2022年12月27日 火 19時00分 東京芸術劇場

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

オルガン: 石丸由佳 ソプラノ: 小川葉奈 (12/22-24) / 市原 愛 (12/25,27)

アルト: 山下牧子 テノール: 錦織 健 (12/22-24) / 笛田博昭 (12/25,27)

バリトン: 大沼 徹 (12/22,23) / 青戸 知 (12/24) / 青山 貴 (12/25,27)

合唱: 東京音楽大学 (12/22,23) / 武蔵野合唱団 (12/24) / 日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/25,27)

J.S. バッハ (M. デュリュフレ編曲): カンタータ第22番 BWV22 より 第5曲「慈しみもて我らを死なせ」

J.S. バッハ: パストラール BWV590 より II. アルマンド、トッカータとフーガ ニ短調 BWV565

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》

(以上3曲オルガン独奏)

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥7,000 C ¥6,000 Ys (25歳以下) ¥3,500 Gs (65歳以上)(12/17除く) ¥6,000

【お申込】日本フィル・サービスセンター

eチケット: www.japanphil.or.jp TEL: 03-5378-5911 (平日 11~17時)



人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

— 創立指揮者 渡邊 暁雄 —

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第381回

横浜定期演奏会

381st YOKOHAMA Subscription Concert

2022年10月1日(土) 午後5時開演

神奈川県民ホール

5:00pm October 1st (Sat.), 2022, at Kanagawa Kenmin Hall



横浜音祭り 2022 パートナー事業



YOKOHAMA
OTOMATSURI

主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞、tvk、横浜アーツフェスティバル実行委員会

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会



文 化 庁



日本フィル横浜定期演奏会 50周年 〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉

もっと楽しく、もっと面白く、より深く!〈横浜カルチュラル・ワンダーランド〉をコンセプトに、歴史、美術、文学… 文化と音楽が響き合う新しいコンサートの楽しみ方を発信いたします。コンセプト監修に横浜国立大学教授の小宮正安氏を迎え、知れば知るほど楽しい時間をお届けしてまいります。

関連講座

朝日カルチャーセンター 横浜教室 (横浜駅東口ルミネ 8階)

《第2弾》 2022年10月10日(月・祝) 15:00~16:30

『社会文化史から読み解く「芸術家の憧れ」の交響楽』

チャイコフスキー『くるみ割り人形』(11月定期)、ラフマニノフ『交響曲第2番』(1月定期)を中心に

講師: 横浜国立大学教授 小宮正安 / 日本フィル・クラリネット奏者 照沼夢輝

音楽家が、「音楽の出来る職人」から「音楽を司る芸術家」へと変貌を遂げた19世紀から20世紀。そうした状況の中であって、様々な憧れ(またその裏返しとの苦悩)を宿した作品がたくさん生まれました。今回はその中から、チャイコフスキーの『くるみ割り人形』、ラフマニノフの『交響曲第2番』を中心に取り上げ、社会文化史の視点からそのメッセージを探ります。またこれらに具わった様々な音楽的な仕掛けを、日本フィル・クラリネット奏者の照沼夢輝の演奏やインタビューも交えてお届けします。(小宮講師・記)

※申込みは朝日カルチャーセンターへ TEL:045-453-1122

第3弾は
2023年1月28日(土)開講。
講座のほか、イベントを計画中!

感染防止にご協力をお願いいたします

●スタッフは不織布マスクを正しく着用します。また、小声で対応させていただきます。●入場時の手指消毒、手洗い、検温をお願いいたします。●ホール内ではマスク(不織布など効果の確かなもの)を正しく着用し、周囲のお客様への配慮をお願いいたします。●開演前はなるべくお席でお過ごしください。また時差退場のご協力をお願いいたします。●会場ロビーでの食事はお控えください。(ホール内は飲食禁止です)●ブラボー等の掛け声はお控えください。ホール内では大声での会話を避けるようご協力をお願いいたします。●出演者へのプレゼント(お手紙・お花などを含む)、面会、楽屋入り待ち、出待ち等のご遠慮ください。●チケットご購入者と演奏会ご来場者のお名前が異なる場合は、ご来場者のご住所、お名前、電話番号を弊団までお知らせください。●万が一感染者が発生した場合など、必要に応じて保健所等の公的機関へお客様のお名前と連絡先を提供する可能性がございます。●新型コロナウイルス接触アプリ(COCoA)等通知アプリの利用をお勧めいたします。

「ダンスが拓く新たな世界」

「舞踏の聖化」と呼ばれるベートーヴェンの『交響曲第7番』を後半に、前半にはその約100年前に作られ、こちらもダンス音楽の要素が目白押しのヴィヴァルディの《四季》が取り上げられる。王侯貴族をはじめとする特権階級の力が強かった時代に、庶民の踊りをあえて基調とし、新たな時代への扉を開いた2つの名曲。そんな「ダンスが拓く新たな世界」を、抜群のリズム感が身上の藤岡の指揮と高木のヴァイオリン独奏で。

Programs

ヴィヴァルディ:

ヴァイオリン協奏曲集《四季》 op.8-1~4 (約37分)

Antonio VIVALDI: Le Quattro Stagioni, op.8, nos.1-4

———— 休憩 (15分) Intermission ————

ベートーヴェン:

交響曲第7番 イ長調 op.92 (約36分)

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.7 in A-major, op.92

指揮: 藤岡幸夫

Conductor: FUJIOKA Sachio

ヴァイオリン: 高木凜々子

Violin: TAKAGI Ririko

コンサートマスター: 扇谷泰明 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

指揮：藤岡幸夫

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られる「サー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降数多くの海外オーケストラに客演。2017年5月のアイルランド国立響ではマーラーの第5交響曲で聴衆総立ちの大成功を収めた。



マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者と東京シティ・フィル首席客演指揮者を務める。毎年40公演以上を共演し2023年1月に24年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2019年の就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。

英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、関西フィルとのシベリウス交響曲全集を2021年9月ALM RECORDSからリリース。著書『音楽はお好きですか?』『続・音楽はお好きですか?』を敬文舎から刊行。

テレビ、ラジオへの出演も多く、番組の立ち上げに参画し指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)は放送350回を越え、2022年10月に9年目に突入する人気番組。

2002年渡邊曉雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

お客様へのお願い

演奏中はお手持の時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声などで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、写真撮影は固くお断りしております。

ヴァイオリン：高木凜々子

3歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学在学中、バルトーク国際コンクール第2位及び特別賞、シュロモ・ミンツ国際コンクール第3位、東京音楽コンクール第2位及び聴衆賞、日本音楽コンクール第3位及びE・ナカミチ賞受賞。これまでにソリストとして、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、広島交響楽団、大阪交響楽団、セグド・ハンガリー国立交響楽団、ハンガリー・ソルノク市立交響楽団、アニマ・ムジカ室内管弦楽団など、国内外のオーケストラと共演。各地でソロリサイタルを開く他YouTube、テレビやラジオなどのメディア活動も積極的に行っている。東京藝術大学卒業、2010年度ヤマハ音楽奨学生。2018年度2021年度ローム音楽奨学生。2020年CD『凜々子プリランテ』をリリース。2022年5月にはCD『リリコ・カンタービレ』を公式盤としてリリース。Amazon、タワーレコード予約、販売ランキング1位、ステレオ誌の特選盤、レコード芸術の準特選盤に選ばれ、注目を集めている。



使用する楽器は(株)黒澤楽器店より貸与のストラディヴァリウス「Lord Borwick」(1702)。



今日のコンサートの聴きどころは?

音楽評論家奥田佳道さんの面白解説をお楽しみください!

16時20分
より
大ホール内
にて♪

奥田佳道(おくだ よしみち) ● 1962年東京生まれ。ヴァイオリン、ドイツ文学、西洋音楽史を学ぶ。ウィーンに留学。「音楽の友」などに寄稿するほか、数々の音楽番組に出演。NHK日曜朝のラジオ「音楽の泉」第4代解説者。ラジオ深夜便「クラシックの遺伝子」に出演中。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ!」他。朝日カルチャーセンター新宿、中之島、北九州各講師。アサヒグループ芸術文化財団音楽部門選考委員。

ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》op.8-1~4

日本で、そして世界で最も広く知られたバロック音楽の代表作。いや、曲の出版が1725年であることを考えると、19世紀を中心としたレパートリーを主軸とするオーケストラの演奏会で度々取り上げられるのは、異例と言えるかもしれない。なぜだろう？

何よりも、この作品が親しみやすいメロディと豊かな情景描写に溢れているため。1725年に出版された際には、『和声とインヴェンションの試み』という曲集の冒頭に置かれていたが、そうした仰々しいタイトルの影は感じられない。じっさい各曲は「春」「夏」「秋」「冬」の副題を持ち、曲の冒頭にはそれぞれの季節の情景を綴ったソネット（詩）がつけられ、音楽はその内容と平行して描写的に描かれていく。

それもこれも、作曲者のアントニオ・ヴィヴァルディ（1678-1741）が、ヴェネツィアを中心に活躍した人物だからだろう。ヴェネツィアはヨーロッパ随一の商業都市として栄えており、商人たちが政治や経済や文化を牽引していた。つまり、王国貴族や聖職者などの特権階級が支配しているヨーロッパの多くの都市と比べて、ヴェネツィアははるかに自由な街であったため、逆に商人をはじめとする市民の心を掴む曲を仕掛ける必要があった。

そうした状況に、ヴィヴァルディはうってつけだった。司祭の職にあるいっぽう、彼はヴェネツィアの子孤児院音楽学校で教鞭をとっており、この学校の学生合奏団のために多くの曲を書いて上演。同音楽学校の名声を広く知らしめるとともに、演奏会を通じて莫大な収入を学校にもたらした。そうした中、彼は、当時一般的であった教会ソナタ様式による四楽章形式に代わり、急-緩-急の三楽章による協奏曲を開拓する。

さらに《四季》の場合、独奏ヴァイオリンと通奏低音付き弦楽合奏のための作品である一方、独奏ヴァイオリンが弦楽合奏の様々なパートと掛け合う、〈合奏協奏曲（コンチェルト・グロッソ）〉の要素も具えている。いかにも商人をはじめとする市民が好みそうなダンスのリズム、さらにいえば曲全体に漲るスウィング感にも事欠かない。

第1曲「春」：ホ長調 第1楽章では、鳥が春の到来を喜び歌い、さわやかな風がそよぎ、春雷も聞こえてくる。第2楽章では木々の葉ずれの音や犬の遠吠えが描かれる。第3楽章はバグパイプの描写とともに羊飼いとニンフ（妖精）たちのダンスが始まる。

第2曲「夏」：ト短調 第1楽章では夏の暑さの気だるさの中にカッコウやキジが鳴く。風はそよ風から北風となり、夏の嵐の風情が描かれる。第2楽章では虫や蚊の羽音が響き、雷鳴も本格的になる。第3楽章では夏の嵐が、野や山や畑だけでなく、人々にも襲いかかる。

第3曲「秋」：ヘ長調 第1楽章では実りの秋を祝う村人が酒を飲み、千鳥足でダンスを踊る。第2楽章では疲れて眠りこむ村人たちで、独奏ヴァイオリンも休止してしまう。第3楽章は狩の角笛に追われて鹿たちが逃げまどい、捕獲されるさまが描写される。

第4曲「冬」：ヘ短調 第1楽章は凍てつく寒さと雪の厳しさ。寒さで歯までガチガチと音をたてる。第2楽章には戸外の寒さとは別世界の暖炉の前での幸福な生活。第3楽章は氷の上を転びながらおそろおそろ歩き、やがて春の兆しを示す風のそよぎも現れるが、やはりまだ、冷たい木枯らしが吹いている。

楽器編成 独奏ヴァイオリン、チェンバロ、弦楽5部。

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92

19世紀初めのヨーロッパで無敵を誇ったナポレオンの軍隊は、1812年のロシア侵攻に失敗して手痛い打撃を受けた。この年ウィーンで完成されたのが、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン（1770-1827）の『交響曲第7番』。《運命》と《田園》（いずれも1808年）の2大交響曲が完成してから4年ぶりの交響曲である。

この交響曲第7番では、特徴的なリズム型の徹底と展開が全曲を通してなされ、ダンスのリズムを基本とした躍動感あふれる力強さがみなぎっている。この頃にはベートーヴェンの耳疾もかなり進んでいたが、そのような不幸を聴き手が忘れるほどに、生命力のほとばしりと悦びを感じさせる作品である。

初演は非公開には1813年4月20日に、ベートーヴェンの支援者だったルドルフ大公邸にて行われ、その年の12月8日ウィーン大学講堂で公開演奏された。これはハーナウ戦役における傷病兵のための慈善演奏会で、ベートーヴェン自身による指揮、同時に管弦楽曲《ウェリントンの勝利、またはヴィットリアの戦い》（“戦争交響曲”の通称を持ち、当時人気のあった作品）も演奏されている。またメルツェル（メトロノームの考案者）による自動演奏機械の音楽や、当時の著名音楽家たち——サリエリ、シュパンツィヒ、シュポーア、フンメル、モシェレスなど——の出演なども話題となり、戦勝気分でも盛り上がっていた世相もあって演奏会は大成功となった。特に第2楽章は何度もアンコールされ、後には“不滅のアレグレット”とも呼ばれるようになる。

第1楽章：ポーコ・ソステヌート〜ヴィヴァーチェ、イ長調、4分の4拍子、ソナタ形式。イギリスやスコットランドの民族舞踊「ジグ」のリズムが基となっている。

第2楽章：アレグレット、イ短調、4分の2拍子、三部形式。沈痛な楽想だが、行進曲のリズムに基づく。

第3楽章：プレスト、ヘ長調、4分の3拍子、スケルツォ楽章（スケルツォは、元々庶民の荒ぶる踊りから生まれている）。

第4楽章：アレグロ・コン・ブリオ、イ長調、4分の2拍子、ソナタ形式。コントルダンス（つまり農民の踊りであるカントリーダンス）のリズムに貫かれている。

楽器編成 フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



「舞踏」が創った「オーケストラ」

本日、私たちが聴くのは「オーケストラ」。言うまでもなく、多彩な演奏家たちが様々な楽器を奏でるアンサンブル・グループのことだ。だがこうしたグループを指して、その昔は「オーケストラ」という言葉自体が存在しなかった。

そもそも「オーケストラ」の語源は、古代ギリシアの円形劇場のある部分から来ている。すりばち状の形を特徴とするこの劇場の一番底の円いスペースが、「オルケストラ」と呼ばれていた。

古代ギリシアの演劇では、「コロス」と呼ばれる合唱団が活躍する。彼らは、登場人物たちの密かな胸の内も含め、舞台上で起きている様々な出来事を、観客に説明する役割を担っていた。現代風といえば、テレビの副音声か字幕サービスといったところ。しかもそうした情報を、より鮮明に客席に伝えるべく、歌に載せて情報を伝えたり、時には楽器をかき鳴らしたりということもおこった。

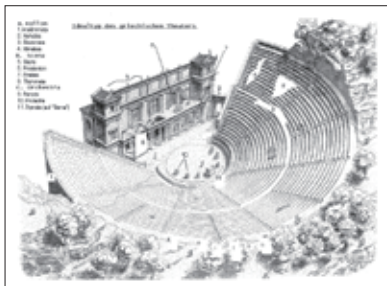
こうした伝統は古代世界の盛衰と共にいったん中断。だが、15・16世紀、つま

り古代ギリシアの様々な文化復興を目指したルネッサンスの時代になると、それが再び盛んになる。円形劇場を自在にアレンジした劇場を造り、上演形態に関する詳細が失われていた古代ギリシアの演劇を自称「復活」させた（これがオペラの基となる）。もちろんそこでは、円形劇場の中央にあった「オルケストラ」も設えられ、今度はそこに器楽のアンサンブルが陣取るようになった。

それでも、まだこのアンサンブルを指す言葉は存在しなかったものの、やがて舞台での踊り（つまりバレエの原型）のノウハウを指南する本が生まれた。その名前こそ「オルケゾグラフィ」。図解付きの指南書で、そこにはダンスをする人々と並んで、楽器を弾く人々が描かれている。そしてここから、器楽アンサンブルのグループが「オーケストラ」と呼ばれるようになってゆく。

というわけで、オーケストラの誕生には舞踏が欠かせない。本日の曲目のように、舞踏のリズムに溢れたオーケストラ曲が書かれるのも、当然なのである。

古代ギリシアの円形劇場。舞台（左側）と客席との間に位置する円形のスペースが、「オルケストラ」である。



Flammingo, CC BY-SA 3.0
<<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>>,
ウィキメディア・コモンズ経由で
[https://commons.wikimedia.org/wiki/
File:GriechTheater2.PNG](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:GriechTheater2.PNG)

Next YOKOHAMA

第382回横浜定期演奏会 ~夢と現を映し出すメルヘン~

2022年11月26日(土) 17:00
横浜みなとみらいホール

指揮: 角田鋼亮

※当初の予定より出演者が
変更になりました。

児童合唱: シンフォニーヒルズ少年少女合唱団

チャイコフスキー: バレエ音楽《くるみ割り人形》



角田鋼亮

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P 完売 Ys (25歳以下) ¥1,500

※ Ys 席は S 席以外から選べます。

※ 車いすおよび障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。

好評発売中!

第744回東京定期演奏会

2022年10月21日(金) 19:00

2022年10月22日(土) 14:00

サントリーホール

指揮: ピエタリ・インキネン [首席指揮者]

ベートーヴェン: 交響曲第8番、交響曲第7番

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500



©山口敦

朝日カルチャーセンター新宿教室 連携企画

[知れば知るほど面白い、日本フィル定期演奏会]

10月20日(木) 15:30 ~ 16:30

講師: 奥田佳道

日本フィル YouTube

【5分でわかる! 大人のためのオーケストラ入門】

東京定期編 公開中!

第240回芸劇シリーズ

2022年11月5日(土) 14:00

東京芸術劇場

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ドヴォルジャーク: 交響曲第8番、交響曲第9番《新世界より》

S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000 Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500



©山本倫子

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組！『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00 (第3週、第4週は再放送)。登場するのは首席指揮者ピエタリ・インキネン&山田和樹。ぜひご覧ください！

■日本フィル e チケット♪が新システムに切り替わります。《2022年秋開始予定》

既に「日本フィル e チケット♪」をご利用いただいている方には、メールにてご案内をお送りいたします。手順に沿ってお手続きをお願いいたします。

もうすぐ発売！

第399回 名曲コンサート

10/6 発売

2023年1月15日(日) 14:00

指揮：カーチュン・ウォン [首席客演指揮者]

ギター：村治佳織

ロドリゴ：アランフェス協奏曲

ベートーヴェン：交響曲第3番《英雄》

変ホ長調 op.55

とっておきアフタヌーン Vol.21

10/19 発売

2023年2月1日(水) 14:00

指揮：広上淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]

サクソフォーン：上野耕平*

ナビゲーター：高橋克典

ミヨー：《スカラムーシュ》op.165c*

ピアノ：《エスクアロ(鮫)》* / 《オブリビオン(忘却)》* / 《リベルタンゴ》*

ビゼー：組曲《アルルの女》第2番 他

Member's TVU CHANNEL CLASSICAL MUSIC

クラシカルミュージック <https://members.tvuch.com/>



↑詳細はこちら

■ 指揮：小林研一郎 [桂冠名誉指揮者] チャイコフスキー：交響曲第4番 他 **最新!**

■ 指揮：ピエタリ・インキネン [首席指揮者] ベートーヴェン：交響曲第5番、第6番

■ 指揮：広上淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)] ブルックナー：交響曲第7番 他

■ 指揮：カーチュン・ウォン [首席客演指揮者] マラー：交響曲第4番 他

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【1】寄付の方法

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターに電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送料はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日11時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食：下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(6名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/フレンチ料理「クイーン・アリス」/ラウンジ「ソマーハウス」

日本料理「大志満」/中国料理「スーツァンレストラン陳」

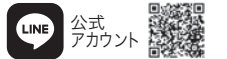
※会計時に「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団

(1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊曉雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッホラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

- 首席指揮者/ピエタリ・インキネン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) / 広上淳一
- 首席客演指揮者/カーチュン・ウォン



<p>ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋</p> <p>アシスタント・コンサートマスター 千葉清加</p> <p>第1ヴァイオリン □伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 榎 渚 竹歳夏鈴 谷崎大起 田村昭博 中谷郁子 西村優子 平井幸子 本田純一</p> <p>第2ヴァイオリン 遠藤直子 大貫聖子 岡田紗弓 加藤祐一 ○神尾あずさ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣紗弓 豊田早織 町田 匡 山田千秋</p> <p>ヴィオラ ☆安達真理 小俣由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈</p> <p>ホルン 伊藤 舜 宇田紀夫 ◎信末碩太郎 原川翔太郎 ☆丸山 勉 村中美菜</p>	<p>ソロ・チェロ 菊地知也</p> <p>チェロ 石崎美雨 伊堂 望 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 山田智樹 横山 桂</p> <p>コントラバス 鈴木優介 ◎高山智仁 成澤美紀 ○宮坂典幸 山口雅之</p> <p>フルート 齋藤光晴 難波 薫 ◎真鍋恵子</p> <p>オーボエ 佐竹真登 ◎杉原由希子 ○松岡裕雅</p> <p>クラリネット ◎伊藤寛隆 ○楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起</p> <p>ファゴット 大内秀介 ◎鈴木一志 ○吉古佑子 中川日出鷹</p> <p>トロンボーン 伊藤雄太 伊波 睦 ○岸良開城</p> <p>バス・トロンボーン 中根幹太</p> <p>チューバ 柳生和大</p> <p>ティンパニ ◎エリック・バケラ</p> <p>パーカッション 大河原 渉</p> <p>ハーブ 松井久子</p> <p>楽団長 中根幹太</p> <p>チーフステージマネージャー 阿部紋子</p> <p>ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔</p> <p>チーフインスペクター 佐藤駿一郎</p> <p>インスペクター 宇田紀夫 鈴木優介</p> <p>ライブリアン 鬼頭さやか 杉本哲也</p> <p>◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間</p>	<p>ソロ・トランペット オッタビアーノ・クリストーフォリ</p> <p>トランペット 大西敏幸 中里州宏 中務朋子 星野 究</p> <p>トロンボーン 伊藤雄太 伊波 睦 ○岸良開城</p> <p>バス・トロンボーン 中根幹太</p> <p>チューバ 柳生和大</p> <p>ティンパニ ◎エリック・バケラ</p> <p>パーカッション 大河原 渉</p> <p>ハーブ 松井久子</p> <p>楽団長 中根幹太</p> <p>チーフステージマネージャー 阿部紋子</p> <p>ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔</p> <p>チーフインスペクター 佐藤駿一郎</p> <p>インスペクター 宇田紀夫 鈴木優介</p> <p>ライブリアン 鬼頭さやか 杉本哲也</p> <p>◎首席奏者 ○副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間</p>	<p>理事長(代表理事) 平井俊邦</p> <p>副理事長(代表理事) 五味康昌</p> <p>常務理事(代表理事) 後藤朋俊</p> <p>常務理事(代表理事) 中根幹太</p> <p>常務理事(代表理事) 福井英次</p> <p>理事 石井啓一郎 遠藤 滋 佐々木経世 田村浩章 戸所邦弘 福本ともみ</p> <p>評議員会会長 加藤丈夫</p> <p>評議員 青井 浩 安孫子 正 荒蒔康一郎 石塚邦雄 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宜夫 海堀周造 梶浦卓一 河北博文 喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精一 津田義久 西澤 豊 野間省伸 葉田順治 村上典吏子 山口多賀幸</p> <p>監事 上條貞夫</p> <p>名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔</p> <p>アドバイザリー・ボード 大島 剛 小野敏夫 小網忠明 後藤 茂 武田隆男 田邊 稔 溝口文雄</p> <p>コミュニケーション・ディレクター マイケル・スペンサー マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 荻鳥里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 小須田萌 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 清水佑香子 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 樋谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 長谷川珠子 馬場桃子 藤田千明 別府一樹 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子</p>	<p>団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 浅井俊雄 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 大味 修 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 齋藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 田沢 烈 立川和男 堂阪俊子 富樫尚代 豊田尚生 中川二郎 永田健一 中務幸彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克巳 松本伸二 三谷昭平 三本克郎 宮武良平 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 山岸辰夫 渡辺哲雄</p>
---	--	--	--	--

(2022年10月1日現在)